

図書便り

第133号
(祝卒業記念号)
2016年2月29日発行
茨城県立筑波高等学校
図書委員会



3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます!!

入学してからの筑波高校での日々をふり返ってみると、どんな思い出がありますか。毎日昼休みに図書館を利用してくれた人、放課後に一生懸命受験勉強をしていた人、百人一首に夢中になった人…。多くの人たちが図書館での時間を楽しんでくれました。旅立ってゆく皆さんがこれからも人生を豊かに彩る素敵な本と巡り会い、一人一人が幸せな道を歩まれることを心から祈っています。

特集！先生方からの推薦本

～卒業後も人生を変えるような素晴らしい本と出会ってください～

＊小幡 法男 校長先生より

『後世への最大遺物』 内村鑑三（岩波文庫）

われわれは後世に何を遺せるのか。天地は失せても失せざるものあり。

＊飯島 利通 教頭先生より

『おばあちゃんが、ぼけた。（よりみちパン！セ）』 村瀬孝生

＊森 比呂志 先生より

『CDで楽しむ えいごよみきかせ絵本1』神戸 万知（著）／久保 純子（よみきかせ）

英語の学習に対する心のイガイガを、和らげてくれるタイプの本です。内容を把握している物語を易しい英語で読み進めていくうちに、いつの間にか英語に慣れ親しんでいます。いつか、自分のこどもに英語で読み聞かせられたら素敵ですね。

＊3 学年主任 奈良 由紀子 先生より

『いのちより大切なもの』星野富弘（いのちのことば社）2012年

中学校の体育教師になって2ヶ月後、首の骨を折る大ケガをして車椅子生活になった星野さん。口に加えた筆が描き出す花の絵と、絵に添えられた優しい詩の数々に、どれだけ励まされ、勇気づけられたかわかりません。「いのちより大切なもの」を知っている人は、本当の幸福を知っている人だと思います。

＊吉原 和枝先生より

『小説 土佐堀川－広岡浅子の生涯』 古川智映子（潮出版社）

「九転十起」のがんばりやの主人公の一代記。朝の連ドラの「あさが来た」の原作本です。

＊真家 大輔先生より 『一步を超える勇氣』 栗城史多（サンマーク出版）

つらいとき、読むとすごい勇氣でます。すごいおすすめです。



読書会を行いました♪ (2月23日(火) 放課後)

幼稚園の園長先生をされていた直江雅子先生をお招きして、2冊の絵本の読み聞かせをしていただきました。



引き込まれていく読み方でした。
1年女子

読むスピードやページのめくり方など、とても参考になった。
2年女子



図書委員・保育系志望生徒計26名が参加しました。

＊石井 正之 先生より

『タスキを繫げ！大八木弘明 駒大駅伝を作り上げた男』 生江有二

駅伝ファンには必見の一冊。毎年優勝候補に上げられる駒澤大学。その練習内容や選手育成の真髓に迫る本です。競技を通じて苦しさ乗り越えて頑張ることの大切さを感じられる内容で読めば必ず、走り出したくなるはず！



＊熊野 弘文 先生より

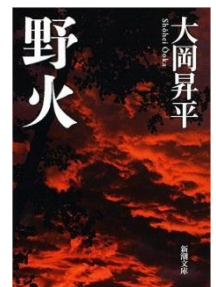
『蛸ノ記』 葉室 鱗（祥伝社）

己の命を切腹で数年後に絶たねばならない。しかも、それを命じた藩のために残りの人生を費やす。そんな主人公の物語です。その凜とした主人公の生き様とそばに寄りそう人々に思いを巡らし、久々にぼろぼろと泣いてしまいました。人生に疑問を感じたときは是非読んでみて下さい。ちなみに、僕にはこのような生き方は絶対にできません。

＊吉原 俊光 先生より

『野火』 大岡昇平（新潮文庫）

読んでいないのですが、今一番読みたい本ということで。



＊前島 三夫 先生より

『大黒屋光太夫』 吉村昭（新潮文庫）

江戸後期、漂流した船頭がロシアの帝都から帰国するまでの信じがたい困難の数々に、ただただ驚く。

＊小野瀬 尊 先生より

『フツの会社員だった僕が、青山学院大学を箱根駅伝優勝に導いた47の言葉』

ビジネスマンだった時の経験を生かし、青学駅伝部を箱根駅伝優勝に導いた原晋監督の「ノウハウ」が詰まっている一冊です。

原監督の常識を覆す指導の中に散りばめられた様々な言葉に「やる気」「勇氣」をもらえます。是非読んでみて下さい。